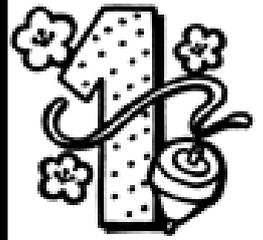


学校だより・あすなる

校長 田崎俊一郎



3学期、来年度に向けて

“いちげついぬる にげつにげる さんげつさる（一月往ぬる 二月逃げる 三月去る）という言葉があることを知っていますか？1月は行く、2月には逃げる、3月は去る とも言います。これは、1月から3月までの時期は、時間の流れが速く毎日があっという間に過ぎ去る事を例えた言葉です。3学期がついこの前はじまったように思いますがもう1月の最終週です。”1月は行く月“であることを実感しています。

さて、3学期も3分の1が過ぎようとしています。先週は、田平中学校学校説明会が開かれ、6年生はより具体的に進学について考えたのではないのでしょうか？北小でも、6年生を送り出す“ありがとう集会”に向けて代表委員会が開かれるなど、少しずつ6年生を送る準備が始まっています。また、他学年においても、学習内容もこれまでの復習の占める割合が多くなってきます。

定着するには復習が不可欠です。何もしないと人は学習したことの8割は忘れるといえます。では、いつ復習するといいいのでしょうか？これにはいろいろな説がありますが、その日のうちに復習するよりも、ある程度の間隔をあけて復習を繰り返す方がより長期的な記憶の保持に役立つということです。記憶することばかりが学習ではありませんが、基礎的な学習事項定着にはやはり繰り返しの復習が効果的です。次の学年で困ることがないように、基礎的な学習事項の定着を図ります。

代表委員会 ありがとう集会を成功させよう

27日に代表委員会を開きました。議題は6年生を送る“ありがとう集会を成功させよう”でした。5年生の運営委員を中心に、各学級から出された意見について話し合いをもちました。一つのことについて、さまざまな角度から意見を述べ合う力は、これから成長する子どもたちにとって必要な力です。表現力を高め、自分の考えをしっかりと発言できる力を今後も身に付けられるようにしたいと思います。



給食ありがとう

1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間です。北小では28日に給食集会を行いました。給食委員会の司会により、給食に関する絵本の読み聞かせや、各学級で作成した感謝状の紹介などを行いました。

子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、子どもたちの健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。毎日の給食指導の中で、感謝の気持ちを育てることはもちろんですが、正しいマナーを身に付けること、食への関心を高めることが重要だと考えます。“今日の給食は何か？”と、考える子どもたちを育てていきます。

